

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 新年のご挨拶
02. 診療科より ~循環器内科 診療部長 関 晋吾 医師~
03. 医療連携フォーラム2014を開催しました。葛飾区合同防災訓練に参加しました
04. 公開セミナーを開催します、編集後記

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

葛飾医療センターはリニューアルから早3年が経過いたしました。これまで大過なく病院運営ができたのも皆さまのご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、葛飾医療センターでは昨年8月に別館増築工事が開始され、本年6月に竣工が予定されていません。用途として放射線治療装置を新たに設置し、準備期間を踏まえ12月を目途に放射線治療を再開いたします。これにより、手術・化学療法を組み合わせたがんの集学的治療が可能となり、がんの状態に応じた適切かつ高度ながん治療を提供することで、より一層地域に貢献してまいります。

近年、少子高齢化の進展、医療の高度化・専門化、医療提供の場の多様化など医療を取り巻く環境が大きく変化するなかで、当センターは地域における中核病院として患者さんを中心とした医療・福祉の切れ目のない地域完結型の医療を推進してまいります。本年もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



院長 伊藤 洋

昨年の診療報酬改定における重点課題は「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等」でした。当院はリニューアル前から「PFMシステム」の構築に取り組み、地域の急性期医療を担う役割として機能強化と地域連携に努めてきました。看護部では「PFMシステム」の精度を上げるべく、患者さんの受け入れと退院調整・地域連携の強化を図っておりますが、急性期病院の機能指標の一つである「在宅復帰率」は安定的に90%以上を維持しております。これも一重に地域の医療・看護・福祉関係の皆様のご支援とご協力のおかげと感謝申し上げます。今後は退院調整のみならず、当院での治療を必要としている患者さん達をスムーズに受け入れるためのシステム・環境作りにも取り組んでいきたいと考えています。そして「葛飾医療センターがあってくれて良かった」と思ってもらえるような、そんな病院になれるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくご協力致します。



看護部長 五味 美春



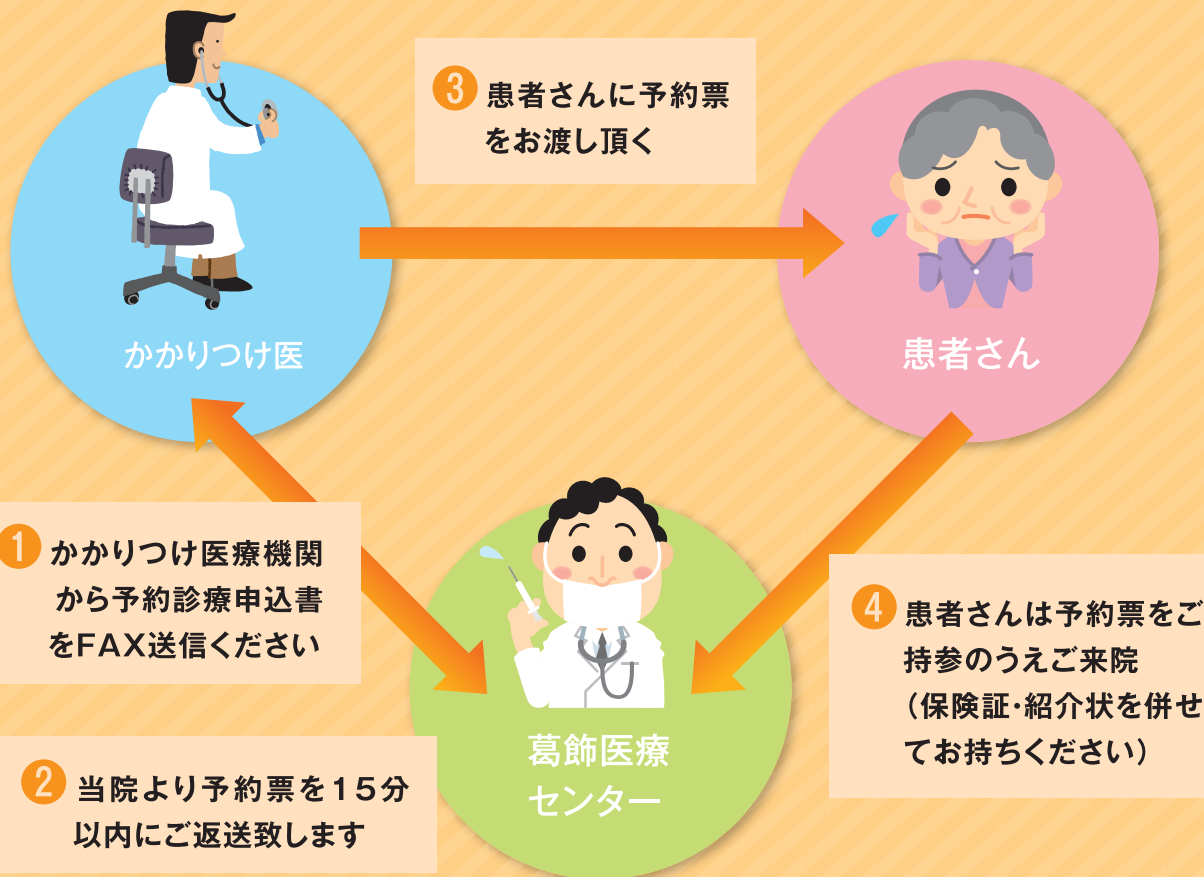
診療科より ～循環器内科 診療部長 関 晋吾医師～

最

近40歳代前半の比較的若い方の狭心症や心筋梗塞が増えています。なかには重症の症例が含まれており、緊急に心臓カテーテル検査を行うと、心臓の冠動脈に複数の病変が見つかり、直ちに冠動脈バイパス術が必要になることもしばしばです。本人や家族も大きな衝撃を受けます。狭心症や心筋梗塞といった虚血性心臓病は、多くが高血圧、糖尿病、喫煙、肥満などの生活習慣病やライフスタイルに原因があります。定期的な健診を出来る限り受けて、異常を指摘された場合は早めに医療機関を受診することが、大変重要です。循環器内科では毎日外来を設け、いつでもカテーテル検査を含めた緊急検査が出来る体制をとっておりますので、近隣の医療機関からのご紹介や、初診で来られても総合内科経由で受診できます。血圧や心臓のことで何か異常があれば早めの受診をお勧め致します。

当院は初診の方もかかりつけ医の先生から診察予約をお受けすることができます。
FAX予約システムをどうぞ活用ください。

【FAX予約システムのお申し込みの流れ】



医療連携フォーラム2014を開催しました

葛 飾医療センターは患者さんの紹介や医療に関する講演会を通じて、地域の医療機関の（診療所や病院）との連携を行っています。この医療における連携を強化する目的で、平成26年11月8日（土）に、「慈恵医大葛飾医療センター 医療連携フォーラム2014」を開催し、地域の医療機関の方々に多数ご参加頂きました。ご参加頂きました皆さまにはこの場をお借りしまして、あらためて御礼申し上げます。

今回の医療連携フォーラムでは、講師にめぐみ在宅クリニック院長の小澤竹俊先生をお招きし、「人生の最期を穏やかに過ごすために」をテーマに、緩和ケア20年の経験に基づいて、医療者が終末期を迎える高齢者がかかえるスピリチュアルな苦しみへの向き合い方や患者を支える方法についてご講演頂きました。

第二部の懇親会では当センターの各診療科診療部長の挨拶があり、ご参加頂いた先生方と懇親を深めました。普段は電話や紹介状でしか連絡をとれない先生方と直接会って話す機会を得て、「顔の見える医療連携の推進」を図ることが出来ました。

この医療連携フォーラムは次年度以降も開催予定です。さらに充実したフォーラムになるよう企画して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

葛飾区合同防災訓練に参加しました

平 成26年11月9日（日）、葛飾医療センターは葛飾区では初となる総合防災訓練に参加いたしました。

首都直下地震による大規模災害を想定とした本訓練において、当センターでは災害拠点病院として、発災時に設置される災害医療対策本部及び緊急医療救護所との連携を密に行い、通信、病院前トリアージ、広域搬送を中心とした災害時の医療に関する訓練を実施いたしました。

本訓練を通じて災害時における組織としての対応面や他機関との医療連携面等、当センターが担う役割の重要性を改めて認識し、また同時に多くの検証すべき事項を見出すことができました。

本訓練開催にあたり、葛飾区保健所並びに葛飾区医師会のみなさまを始め、各関係機関に感謝を申し上げるとともに、今後も地域と共生し、進化・創造し続ける病院として、また、大規模災害発生の際には、災害拠点病院として地域に貢献できるよう、よりいっそう努めるべく、邁進していく所存です。



●トリアージ訓練様子



●広域搬送訓練様子



公開セミナーを開催します

①日時：平成27年2月14日(土) 14:00～15:30
(12:00より整理券配布開始)

②会場：慈恵医大葛飾医療センター 5階 講堂

③テーマ：「脂肪肝のお話～ならないために、なったときのために～」

④司会：消化器・肝臓内科 診療部長 相澤 良夫

⑤挨拶：葛飾区医師会 副会長 安藤 進

⑥演者・演題：1)消化器・肝臓内科 診療医員 会田 雄太
「肥満と肝がんのお話」

2)栄養部 課長 湯浅 愛
「あなたの食事は大丈夫?食生活を見直して、
肝臓に負担をかけない食事をしませんか。」

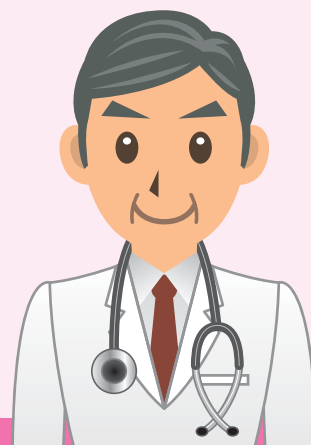
お気軽に
ご参加
ください。

⑦後援：(社)葛飾区医師会

後援・協賛：葛飾区、慈恵医大同窓会

⑧参加費：無料

⑨定員：先着150名 ※定員を満了した時点で受付終了となります



新年明けましておめでとうございます。

昨年も例年通り医療連携フォーラムや公開セミナーを開催し、先生方ならびに区民の皆様との交流の場を設けさせて頂きました。本年も継続して皆様にお役に立てる企画を計画しております。本誌の内容含めご意見・ご要望がございましたら、広報担当者(表紙記載のメールアドレス)にご連絡ください。忌憚のないご意見お待ちしております。